



①計画 (PLAN) ②行動 (DO) ③評価 (SEE)



いとう らみ
伊藤 羅末 (厚陽中学校 2年)

①英語を好きになる②初めは聞き取りができず、話すことができませんでした。繰り返してもらうことで理解でき、ジェスチャーを交えながら会話をしました。③英語ができなくてもコミュニケーションは取れますが、英語力があれば、会話や意思をより伝えることができたと思います。帰国後、もっと会話ができるようになりたいと思い、英語を習うことにしました。英語を話す場で再度チャレンジしたいです。



やまもと なつみ
山本 夏実 (高千帆中学校 3年)

①会話の中で英語力、コミュニケーション能力、積極性を上げる②その場で質問や話題を考え、思いついた英語を自分から話しかけるよう心がけました。学校で習った文法やジェスチャーも使いました。③積極的に自分から話すことができたと思います。これからは本格的に英語が話せるように、もっと勉強をして、外国の人と差を感じないくらい話せるようになりたいです。そして、外国の人とたくさん話したいです。



モートンベイでの学校生活・ホームステイ



いまよし ゆうこ
今吉 柚子 (厚狭中学校 3年)

オーストラリアでは、先生の話聞ききった姿勢で聞く習慣はないですが、どんな姿勢でも顔は先生に向いていて、下を向いて聞いている人はいませんでした。勉強をせず点数を取れなかったら自分の責任というシビアな面もあるようですが、押しつけられるのではなく、自分の好きな分野を選択してのばしている人が多く、すてきな勉強のやり方だと思いました。これからは、自分が興味関心があることに積極的にふれ、前向きに学習したいです。



せき ほのか
関 穂乃香 (厚狭中学校 3年)

学校では、先輩・後輩の区別がなく、年齢関係なくランチを一緒に食べました。ICT化が日本よりも進んでいて、ノートパソコンを1人1台持ち、宿題もパソコンでします。授業中にスマホの使用もでき、日本に比べてとても自由だと感じました。授業で出されるプリントはとても難しいです。日本では考えられないようなことが目の前で起きるので、とても面白く、新しい経験をすることができました。



あおき みゆう
青木 美夕 (竜王中学校 2年)

初日は緊張や不安があって、話すことにためらいがありました。何日か経つと慣れてきて単語を繋げて会話ができるようになりました。ホストファミリーは、海や動物園など、私が行きたい場所に連れて行ってきて、やりたいこと全てを叶えてくれました。ホームステイは新しい発見がたくさんあったので、海外派遣にチャレンジして本当に良かったです。



かく まりあ
角 まりあ (小野田中学校 3年)

ホームステイは、初めは不安で上手くやれるか心配でしたが、優しくて面白いホストファミリーのおかげですぐに打ち解けることができました。日本が大好きな家族だったので、日本についてたくさん伝えることができました。オーストラリアの良さは、風景や町並みはもちろん、一番は温かい人たちだと思いました。初対面でも前からの知り合いのように話しかけてくれて本当に嬉しかったです。いつか必ずオーストラリアに戻ってきたいと思います。



海外派遣で感じたこと



ひらばら みわこ
平原 美和子 (埴生中学校 3年)

「いただきます」と言わずに肘をついて食べる外国人を見て、行儀が悪いなと思っていました。しかし、オーストラリアではそれが普通で、行儀が悪いと思っていたことは、文化の違いであるということに気づきました。色々な価値観を学ぶことができて、以前より外国に対して興味を持つようになりました。



みすみ まさと
美澄 将斗 (高千帆中学校 3年)

「積極的に現地の人と会話をする」ということを目標にしてこの事業に参加し、やり遂げたことは、自分にとって大きな自信になりました。正しい文法を使うことも大切ですが、伝えようと努力することが必要だと感じました。異国の文化に触れたことによって、想像力や行動力も大きく成長したと思います。

